

玉木氏 出馬前向き

民進代表選 来月15日投開票

民進党は2日の両院議員総会で、代表選を9月2日告示、15日投開票とすることを正式に決定した。各議員グループは相次いで会合を開き、代表選に向けた動きが活発化した。

総会後の懇談会では、執行部が参院選の総括案を示

した。「目標を達することはできなかつたが、1人区11選挙区で野党候補者が勝利した」と評価し、「衆院選における野党連携のあり方について、基本的枠組みは維持しつつ、さらに検討する」とした。

野党共闘路線を引き継ぐ

有力候補と目される蓮舫代表代行はこの日、旧民社党系グループのベテラン議員と協議するなど、連日、党内に影響力のある議員との対話を重ねている。

一方、野党共闘に慎重な細野豪志元環境相は、自らのグループの会合を開き、対応を協議。細野氏は終了後、記者団に「誰かを支えていくことも一つの考え方だ」と述べ、自らの立候補には必ずしもこだわらない考えを示した。

執行部と距離を置く前原誠司元代表のグループも会合を開いた。前原氏は記者団に「時流が私を求めているかどうかも踏まえ判断しないといけない」と語った。

また参院選で共産との共闘を批判した玉木雄一郎衆院議員は2日、旧維新の党の江田憲司代表代行らと会談。代表選への出馬に前向きな姿勢を示したという。代表選には長島昭久元防衛副大臣も意欲を示している。